国際学術委員会

International Scientific Committee

Rock Art Committee /Comité d'Art Rupestre (CAR – ICOMOS),
岩面画委員会

ISC の名称

Rock Art Committee /Comité d'Art Rupestre (CAR – ICOMOS),
岩面画委員会

ISC の目的について（ホームページ www.icomos.org より抜粋）

岩面画国際委員会の目的は、人類の岩面画遺産の知識、保護、復元のために世界規模な行動のコーディネイトをすることである。

この遺産の状態を敏感に察知すること。

この分野で国際的協力を促進すること。

研究者間の連携を確立すること。

国際機構、出版の促進、岩面画遺跡のレプリカ制作の実現に助言を与えること。

世界における岩面画の目録を作成すること。

ドキュメンテーションや安価な保護装置を含む保存のためのデジタル技術を発展させること。

岩面画世界遺産用のウェブサイトを作成すること。

ISC の役員およびメンバー紹介

岩面画国際委員会会長：Ulf BERTILSSON（スエーデン・イコモス国内委員会）

アソシエイト・メンバー：小川勝（日本イコモス国内委員会、鳴門教育大学助教授）

五十嵐ジャンヌ（日本イコモス国内委員会）

ISC の最近活動の紹介

岩面画国際委員会の活動

1. 2006 年 9 月 4〜9 日、ポルトガルのリスボンにて、UISPP*1 による"Art rupestre – Etat de l'art global"会議（IFRAO*2 と共催）開催。

2. 2006 年 6 月、イコモス岩面画委員会のテーマ研究報告書『Rock Art of Latin America & Caribbean』作成。（ホームページ www.icomos.org よりダウンロード可）

3. 2004 年 12 月、イタリア・ヴァルカモニカ岩面画遺跡のモニタリング。

国内での岩面画委員会の活動。

1. 2006 年 11 月 12～14 日、北海道にて岩面画研究会。フゴッペ洞窟（余市市）、手宮洞窟（小樽市）にて調査。札幌市開拓記念館にて岩面画資料の調査。

2. 2006 年 2 月、山口県下関市にて彦島杉田遺跡岩面画の調査。

3. 2005 年 3 月、朝鮮半島東南部にて盤龜臺（バングデ）、川前里（チョンジョンリ）、尚州里（サンジュリ）の岩面画遺跡を調査。

*1) UISPP とは Union Internationale des Sciences Préhistoriques - Protohistoriques の略称。1931 年当初 ICPHS(Congrès international des sciences préhistoriques et protohistoriques)として発足。1954 年 ICPHS/CIPSH(International Conseil of Philosophy and Humain Science/ Conseil international de la Philosophie et des Sciences humaines)に加盟し、UNESCO の財政支援を得る。1955 年 ICPHS への加盟にしたがって UISPP に改名。

1992 年以降、（イコモス岩面画国際委員会）CAR － ICOMOS、UISPP Commission 9 : Art Préhistorique、ARAPE（Association pour le Rayonnement de l ’ Art Pariétal Européen）による INORA（International Newsletter on Rock Art / Lettre internationale d ’ informations sur l ’ art rupestre : 岩面画に関する国際的ニュースレター）を年に 3 号発行。ISSN: 1022-3282

*2) IFRAO とは、International Federation of Rock Art Organizations の略称。

Fugoppe abrasion

（2007 年 12 月更新）